クレアール公務員講座 島本 昌和

【No.31】ある財の需要関数が

Q=300-5P (Q:需要量、P:価格)

であるとする。いま、この財の需要の価格弾力性が 1.5 であるとき、この財の需要量はいくらか。

- 1 30
- 2 60
- 3 80
- 4 120
- 5 180

正答4

#### 好評発売中







島本昌和のミクロ経済学 The Best エクシア出版 島本昌和のマクロ経済学 The Best エクシア出版

※クレアールではお取り扱いがありませんので、書店、amazon、楽天ブックスなどでお求めください。

赤字のページは上記テキストの参照ページです。

#### p.49 参照

需要の価格弾力性の公式から求めてみましょう。

$$e_d = \frac{\Delta Q}{\Delta P} \times \frac{P}{Q} \times (-1)$$

に代入します。需要関数より $\frac{\Delta Q}{\Delta P} = -5$ なので

$$e_d = 5 \times \frac{P}{Q}$$

これに需要関数を代入して

クレアール公務員講座 島本 昌和

$$e_d = 5 \times \frac{P}{300 - 5P} = 1.5$$

となるので、

$$\frac{P}{300-5P} = 0.3$$

P = 0.3(300 - 5P)

P = 90 - 1.5P

2.5P = 90

P = 36

 $Q = 300 - 5 \times 36 = 120$ 

#### ☆e カウンセリング ~メールで質問&相談~

公務員の仕事、公務員試験、勉強法、クレアールの講座などについてクレアール公務員相談室、合格アドバイザーがメールで回答します。お気軽にご質問、ご相談ください。(無料)

e カウンセリングのページから、送信ください。

http://www.crear-ac.co.jp/koumuin/ecounseling/

クレアール公務員講座 島本 昌和

【No.32】今期と来期の②期間で所得の全てを支出する、ある消費者の効用関数が、

 $U = 2C_1C_2$  (U: 効用水準,  $C_1$ : 今期の消費額、 $C_2$ : 来期の消費額)であるとする。

この消費者は、今期に 180 の所得を得て、来期に 231 の所得を得るものとする。また、今期に貯蓄をすれば来期に 5%の利子が得られるのに対し、今期に借り入れをすれば来期に 10%の利子を支払うものとする。

この消費者が、効用を最大化するために、今期に取る行動として妥当なのはどれか。

- 1 20 の借り入れを行う
- 2 15 の借り入れを行う
- 3 借り入れも貯蓄も行わない
- 4 15の貯蓄を行う
- 5 20の貯蓄を行う

#### 正答 2

#### p.113 参照

借り入れと貯蓄の場合で予算制約線が異なるケースです。解き方としては、両方の場合の予算制約式を作って、最適消費を出して、条件に矛盾するかどうかを見るだけです。

まず、貯蓄の場合、C1<180 の時です。

 $C_2 = (180 - C_1) \times 1.05 + 231$ 

 $C_2 = -1.05C_1 + 420$ 

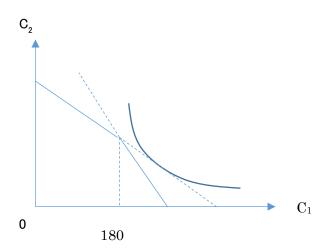
となります。

このときの $C_1$ は、効用関数がコブ=ダグラス型なので公式で計算できます。

$$C_1 = \frac{210}{1.05} = 200$$

C1<180 より、不適

クレアール公務員講座 島本 昌和



C1>180 のとき、つまり借り入れをする場合

 $C_2 = (180 - C_1) \times 1.1 + 231$ 

 $C_2 = -1.1C_1 + 429$ 

このときの C1 は公式より

$$C_1 = \frac{429}{2 \times 1.1} = 195$$

今期の消費が195なので15の借り入れを行います。

#### ☆社会人のための公務員転職セミナー(無料)

民間企業にお勤めで、公務員に転職を考えられていらっしゃる社会人の方向け、個別相談会です。学習経験が無くても大丈夫、公務員相談室、転職サポートアドバイザーがとことん相談に乗ります。

クレアール HP からご予約の上ご来校ください。

http://www.crear-ac.co.jp/koumuin/

クレアール公務員講座 島本 昌和

【No.33】ある財が完全競争市場の下で供給されており、この財に対する社会の需要関数が、 d=100-2p (d: 財の需要量、p:財の価格)

で示されるものとする。

この財を 1 単位追加的に生産するための限界費用は 20 であるが、この財を 1 単位追加的に生産する際に大気汚染が生じており、その社会的コストが 5 であるとする。

このとき、この財の供給を市場の自由な取引に委ねた場合の総余剰として妥当なのはどれか。

- 1 300
- 2 600
- 3 625
- 4 650
- 5 900

# 正答 2 p.280 参照 需要曲線は $p = -\frac{1}{2}d + 50$

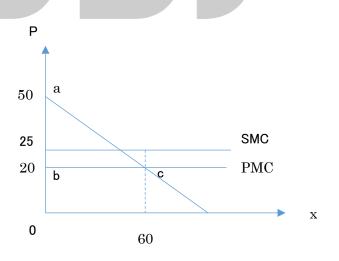
限界費用 MC=20

だから

市場に任せておくと、この財の供給量はp=MCより

$$20 = -\frac{1}{2}d + 50$$
 より

d = 60 となります。



クレアール公務員講座 島本 昌和

このときの総余剰は消費者余剰+生産者余剰-外部性 で計算できます。消費者余剰は三角形 abc の部分ですから、面積は  $30 \times 60 \div 2 = 900$  です。

また、生産者余剰は0です。外部性は $5\times60=300$ ですから求める総余剰は900-300=600 となります。

### ☆公務員プライベート相談会実施中(無料)

公務員の仕事、試験、学習に関する個別相談会です。公務員になりたいけど、どんな仕事をするのか分からない、どんな職種が自分にあっているのかわからない、勉強が苦手だけど・・・・、など様々な疑問、不安にクレアール合格アドバイザーがお答えします。

クレアール HP からご予約の上ご来校ください。

http://www.crear-ac.co.jp/koumuin/

#### ☆e カウンセリング ~メールで質問&相談~

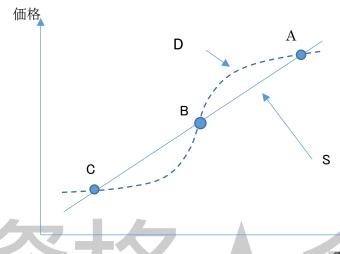
公務員の仕事、公務員試験、勉強法、クレアールの講座などについてクレアール公務員相談室、合格アドバイザーがメールで回答します。お気軽にご質問、ご相談ください。(無料)

e カウンセリングのページから、送信ください。

http://www.crear-ac.co.jp/koumuin/ecounseling/

クレアール公務員講座 島本 昌和

【No.34】次の図は、縦軸に価格を、横軸に需要量・供給量をとり、市場におけるある財の需要曲線をD(破線)、供給曲線をS(実線)で表したものである。各均衡点A、B、C に関する記述として妥当なのはどれか。



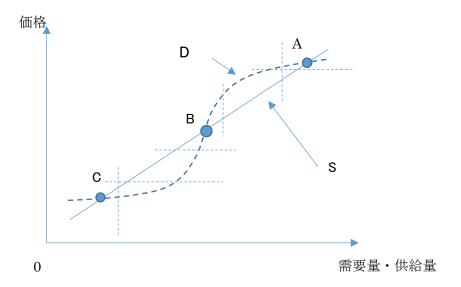
需要量·供給量

- 1 均衡点 A は、ワルラス的には安定だが、マーシャル的には不安定である。
- 2 均衡点 B は、ワルラス的には不安定だが、マーシャル的には安定である。
- 3 均衡点 Cは、ワルラス的にもマーシャル的にも安定である。
- 4 均衡点 A 及び B は、いずれもワルラス的に安定である。
- 5 均衡点A及びCは、いずれもマーシャル的に安定である。

正答 5

p.10 参照

クレアール公務員講座 島本 昌和



それぞれの点でワルラス的に安定かどうかを知るためには、点の上下で超過需要、超過供給 のどちらがでているかを見れば良い。

A点の下では超過供給なのでワルラス不安定

- B点の下では超過需要なのでワルラス安定
- C点の上では超過需要なのでワルラス不安定となります。

マーシャル的に安定かどうかを知るには、均衡点の左右で超過需要価格、超過供給価格のどちらがでるかを見れば良い。

- A 点の右では超過供給価格なのでマーシャル安定
- B点の右では超過需要価格なので、マーシャル不安定
- C点の右では超過供給価格なのでマーシャル安定

よって5が正解です。

### ☆公務員プライベート相談会実施中(無料)

公務員の仕事、試験、学習に関する個別相談会です。公務員になりたいけど、どんな仕事をするのか分からない、どんな職種が自分にあっているのかわからない、勉強が苦手だけど・・・・、など様々な疑問、不安にクレアール合格アドバイザーがお答えします。

クレアール HP からご予約の上ご来校ください。

http://www.crear-ac.co.jp/koumuin/

クレアール公務員講座 島本 昌和

【No.35】ある企業が独占的にある財を供給しているとする。この独占企業が直面している 需要関数が

Q=60-2P (Q:需要量、P:価格)

であるとする。また、この独占企業の総費用関数が

 $C = X^2 + 6X + 8$  (C : 総費用、<math>X : 生産量)

であるとする。このとき、独占市場の均衡における総余剰の大きさはいくらか。

- 1 16
- 2 96
- 3 112
- 4 128
- 5 208

#### 正答3

p.212 参照

図に書いて計算していきます。

まず、限界費用は $C = X^2 + 6X + 8$ より、X で微分して MC=2X+6 となります。

需要曲線は Q=60-2P より

 $P = -\frac{1}{2}Q + 30$ 

限界収入 MR は需用曲線の傾きが 2 倍となるので

MR = -Q + 30

生産量は MR と MC の交点で決まるので、このときの価格は

-Q+30=2Q+6 (生産量は、需要量は Q に統一)

3Q=24

Q=8

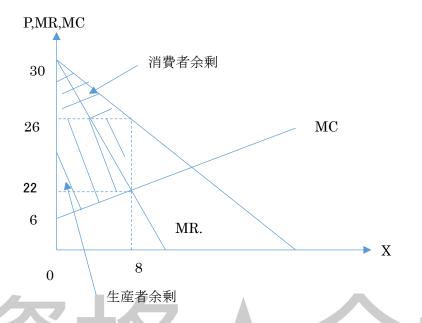
このときの価格は、需用曲線に代入して

 $P = -\frac{1}{2} \times 8 + 30 = 26$ 

また、限界費用は

 $MC = 2 \times 8 + 6 = 22$ 

クレアール公務員講座 島本 昌和



この生産者余剰と消費者余剰の合計を求めます。

これは台形の面積ですから

 $(4+24) \times 8 \div 2 = 112$ 

## ☆e カウンセリング ~メールで質問&相談~

公務員の仕事、公務員試験、勉強法、クレアールの講座などについてクレアール公務員相談室、合格アドバイザーがメールで回答します。お気軽にご質問、ご相談ください。(無料)

e カウンセリングのページから、送信ください。

http://www.crear-ac.co.jp/koumuin/ecounseling/